

## 令和6年度香川大学入学式 学長告辞

本日、香川大学に入学された1,339名の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。数ある大学の中から香川大学を選んで下さったことを大変うれしく思います。また、皆さんを今日まで支えて来られたご家族や関係者の皆様に心よりお祝いと感謝を申し上げます。列席の本学役員、副学長、学部長はじめすべての教職員とともに、皆さんを心から歓迎します。

皆さんの多くは、中学生の後半から高校生にかけて、3年余りに渡って、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を強く受けられました。授業や部活動、学校行事などでさまざまな制約のある学校生活を過ごして来られたと思います。そのような困難な状況を見事乗り越えて、今日、無事に入学式を迎えられた皆さんに敬意を表します。これからは行動制限のない自由な大学生活を満喫して頂ければと願っています。

香川大学は、香川県における唯一の国立大学として1949年に誕生しました。今年で創立75周年を迎えます。この間、2003年に香川医科大学と統合して、現在の姿になりました。教育学部・法学部・経済学部・医学部・創造工学部・農学部という6つの学部から成り、このうち医学部は、医学科・看護学科・臨床心理学科の3つの学科で構成されています。このように文系と理系

がバランスよく揃った総合大学として総合力を発揮することを目標にし、「地域に根ざした学生中心の大学」をスローガンに掲げています。ここで言う「地域に根ざした」とは香川県や瀬戸内海エリアを拠点にして教育・研究・地域連携活動などを展開することを指しており、「学生中心の大学」とは学生が主役となって活躍できる機会をさまざまに提供する大学という意味です。折しも香川大学は今年から東京藝術大学とタイアップし、瀬戸内海の海や島や沿岸部を舞台にして「アートと科学技術による『心の豊かさ』を根幹としたイノベーション創出と地域に根差した課題解決の広域展開」を実施することになっています。このプロジェクトの中でも、学生さんが輝ける取組みを工夫していきたいと考えています。

皆さんの中には、初めて香川県に住む方も多くおられると思います。香川県は讃岐うどん発祥の地として、そして日本でもっとも面積の小さな県として知られていますが、気候も風土も住んでいる人も皆、穏やかで、他所から来た人にとっても住みやすいところだと言われています。大学においても、学生生活上の困りごとに対して相談体制を整えていますので、一人暮らしに不安を感じている方もおられるかもしれませんが、ご心配には及ばないと思います。困ったときは一人で悩まず、大学の相談窓口に来てください。皆さんが香川大学に入学して良かったと心から思ってもらえるよう、教職員一同、努力して参ります。

大学は、学部によって専門分野が分かれていますので、自分の所属する学部で、高度で専門的な知識や技術を身に付けることができます。皆さんもそのことを期待して学部を選択されたと思います。しかし、その一方で、所属学部とは関係なく学んでほしいことがあります。皆さんが生きる社会は、人口減少・地球温暖化・人工知能（AI）の急速な発達などにより、激しく変化し、簡単には将来を見通せないことから、社会を生き抜くために必要な考え方や行動様式を学ぶことが大切です。すなわち、既成概念にとらわれず、柔軟に発想することにより、課題を発見し、その解決法を考え、そして解決に向かって実際に行動する能力が求められています。そのために、香川大学では「DRI 教育」と名付けた一連の授業科目を全学共通教育の中で展開しています。DRI 教育とは、デザイン思考の「D」、リスクマネジメント（危機管理）の「R」、インフォマティクス（数理・情報基礎）の「I」の3つの能力を身につけ、新たな価値を創造するための力を育成する教育です。DRI 教育以外にも、急速に進むグローバル化に対応できる国際感覚を在学中に是非、身に付けて頂きたいと思います。そのなかには英語の運用能力を高めることや、Diversity & Inclusion、すなわち、性別や人種、国籍、障害の有無、年齢などの多様性を認め合い、皆が活躍できる社会を目指すことや、国連の持続可能な開発目標 SDGs への取組み等が含まれます。

そして、勉学とともに、あるいはそれ以上に重要なことは、大学生活を通じて人間的に成長し、大学卒業後に、社会人として自立して、生きていけるだけの「人間力」を身に付けることです。そのためには、勉学に積極的に取り組むのは勿論ですが、サークル活動を始めとする学内の課外活動や、学外での地域連携活動、ボランティア活動など、様々なことに挑戦してみてください。アルバイトも、経済面だけでなく、人間形成の面でも役立つと思います。どうかひとつでも多くの経験を積み、そのなかで友人を作ってください。

大学での勉学や課外活動には、自主性が求められます。これらは誰かに言われて仕方なく行うものではなく、自らの意思で能動的に行うものです。「初心忘るべからず」という言葉がありますが、改めて、自分は何のために大学に入学したのか、大学で何をやりたいのかをしっかりと考え、そして大学を卒業した後の自分の姿を想像してみてください。これから大学生活を続けるなかで、困難に直面したり、挫折を味わうこともあるでしょう。そんなときモチベーションを維持することは大変重要なことです。そのためにも、入学直後のこのタイミングで、自分の目標を定めるようにしてください。

ところで、大学卒業後の進路のひとつとして大学院への進学があることを知っておいてください。高度化・複雑化した社会では、理系・文系を問わず、大学院で研究を通して専門分野の知識やスキルを深めることがますます重要になってきています。香川大学では、2年前にスタートした文理融合型の「創発科学研究科」を始めとして、全部で5つの大学院または専門職大学院の研究科を設置し、さまざまな専門分野のニーズに対応しています。

最後に、入学生の皆さんが充実した大学生活を過ごし、逞しく成長されることをお祈りして、告辞とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

令和6年4月3日

国立大学法人 香川大学長

上田 夏生